



特定非営利活動法人

# 医学統計研究会

Biostatistical Research Association

Newsletter No.5 (74)

2010.5.31

青葉若葉が競って映える時節になりました。緑の華やかな時節は、加齢の身にはいささか落ちつかない風情を醸します。さっそくですが、皐月の事象をご報告申しあげます。

1 定例研究会[東京] 2010-5-14 が、5月14日(水)にノバルティスファーマ 本社 [興和西麻布ビル1階会議室] にて 13:30 ~ 17:00 に開催されました[敬称略]。

研究報告

座長：藤澤正樹

- ・尼ヶ崎太郎. 最近の話題.
- ・池田公俊. 時変型回帰係数を含む経時対応モデルの評価.
- ・山邊太陽・後藤昌司. 事前・事後評価とその解析方法：続き.
- ・後藤昌司・米山昭成. コンサルティングに拾う話題：DASについて.
- ・後藤昌司. 『遊学一如の世界』から

当日は、日本計算機統計学会・第4回大会が立川で開かれていたこともあり、出席者は4人でしたが、「がぶ」で開かれた課題検討会には、6人の方々が集い、研究から「勤行」までの広範な話題について議論されました。

2 平成22年度第一回通常総会 (2010-5-29) が以下の次第で開催されました。

(日時) 2009年5月29日(土). 10:30~12:00

(会場) 豊中市待兼山町1番3号. 大阪大学基礎工学部 G509号室.

(会員総数) 67名 (正会員のみ：休会中4名を含む).

(出席者数) 42名 (うち委任状出席者：28名). 監事2名.

(内容) 第1号議案：平成21年度事業報告.

審議の結果、全員一致で可決承認.

第2号議案：平成21年度収支報告 [財産目録・貸借対照表・収支計算書].

審議の結果、全員一致で可決承認.

第3号議案：平成22年度事業計画.

審議の結果、全員一致で可決承認.

第4号議案：平成22年度収支予算.

審議の結果、全員一致で可決承認.

第5号議案：その他 [会員動向・新規事業]

3 定例会 [大阪] (2010-5-29) が5月29日(土)に大阪大学 (豊中キャンパス) 基礎工学部 PBL 実習室2 (G509) にて 13:30 ~ 17:00 で開催されました。

研究報告

座長：坂本 亘

- ・ 大山秀輔：交互作用とその評価：研究の開始にあたって
- ・ 山口祐介：データの復元とその評価
- ・ 吉岡なつき：リスク選好が健康関連行動に及ぼす影響：再検討
- ・ 米山昭成：リウマチ治療の評価指標について
- ・ 池田敏広：『臨床予測モデル』の講究

座長：富金原 悟

- ・ 清水佐知子：看護師業務の構造化
- ・ 中村将俊：『Lasso 調整型平衡樹木接近法による回帰解析』の論文化に向けて
- ・ 尾崎寿昭：混合効果形状不変モデルに基づく曲線分離に向けての現況報告
- ・ 高瀬貴夫：経時対応計数データのベキ変換
- ・ 下川敏雄：最近の樹木構造接近法の動向：成書の状況報告

18 時から「音羽茶屋（池田総本店）」で開かれた課題検討会にも 22 名の方々が参加され、時間を忘れるほどの熱い楽しい議論で盛りあがりました。



定例会 [大阪]・課題検討会 [懇親会] でのひとこま

4 特定主題シンポジウム 2010 「臨床評価における計算環境 R とその周辺：S-PLUS による妥当性確認」が以下の次第で開催されます。論文の投稿を控えている方、あるいは、独自の研究についてのシミュレーションやデータ解析を提示されようとしている方々に、ご参加を強くお勧めいたします。

日時：2010年6月12日(土) 9時30分～17時00分

場所：(株)数理システムセミナールーム

開会挨拶：魚井 徹. 座長：田澤 司・河合 統介. 閉会挨拶：後藤昌司.

講演者：

- ・山本義郎. 計算環境Rとそれに基づく統計実践
- ・坂本 亘. Rによる統計的シミュレーション・実践編
- ・下川敏雄. Rによる計量データの解析：パッケージと開発環境
- ・越智義道. Rによる離散データの解析：パッケージと開発環境

5 連携事業を主とした今後の予定をお知らせいたします [敬称略].

- (1) 日本計算機統計学会・スタディ・グループ「データの圧縮と復元の方法」(主査：藤澤正樹)  
(研究機関：2008-5~2010.5)の活動が終了いたしました。その成果報告が日本計算機統計学会第24回シンポジウムで報告される予定です。その構想(案)が以下のようになっています。
  - ・山邊太陽：要約統計量のいろいろ(仮)。
  - ・坂本 亘：データの圧縮と復元における基礎理論(仮)。
  - ・山口祐介：臨床評価におけるデータの復元(仮)。
  - ・藤澤正樹：データの復元の方法とその妥当性の評価(仮)。
- (2) 日本計算機統計学会・スタディ・グループ「統計科学におけるシミュレーションの過程」  
(主査：伊藤雅憲)が発足しました。研究期間は、2010-5~2012-5となっています。その意図している「概要」を以下に紹介いたします。

---

シミュレーションとは諸種のシステムの挙動を、ほぼ同じ法則に従う他のシステムやコンピュータの挙動によって模擬することであり、諸種の科学分野で活用され、理論や仮説が妥当かどうかの検証はもちろん、理論や実証だけでは解明が困難な問題への接近も容易となる。近年の計算機環境の発達により、シミュレーションの重要性は益々高まっている。

シミュレーションは、一見、統計理論を知らなくても手軽に実施できるのが利点である反面、その設計にあたっては十分慎重でなければならない。前提条件や想定すべきモデルの設定を間違えているために誤った結論が導かれたり、何らかの仮説の検定で本来、検出されるべきパラメータが誤差変動の中に隠れてしまったりして、失敗に終わることも少なくない。シミュレーションを実施するには、結局のところ、統計的推測の理論が非常に重要となってくる。

以上を踏まえて、シミュレーションの実施における統計的推測に着目し、本研究テーマを設定する。スタディ・グループでは、シミュレーションの有用性や問題点を体系づけ、諸種の現場への応用の可能性について議論したい。とくに、近年、シミュレーションを臨床評価過程に応用しようという研究が盛んになりつつあり、本主題は計算機統計学における実験計画への応用分野としても適切であり、力を入れて研究活動を行いたいと考える。

---

その第1回会合が本研究会の「サマー・フォーラム2010(2010年7月24日)」の折に開かれる予定です。プログラムの詳細は次号でお知らせいたします。

- (3) 本研究会「夏季セミナー2010」と共催で、山梨大学グローバルCOEシンポジウム「医学統計学および疫学の方法と実際」が開催されます。このシンポジウムで、本研究会の多

くの方々も講演・参加されます。

日時： 2010年7月2日(金)：9:00～17:40

場所： 山梨大学 工学部 A2-21号館

座長：坂本 亘(大阪大学)・藤崎恒晏(鹿児島高専)・松原義弘(先端医療振興財団)

廣岡秀樹(アステラス製薬株)・河合統介(ファイザー株)・藤澤正樹(あすか製薬株)

- 要約統計量からのデータの復元とその評価 (仮). 山口祐介(大阪大学)
- 交互作用とその評価について (仮). 大山秀輔(大阪大学)
- 患者待ち行列シミュレーションによるベッド数の予測 (仮). 坂田奈津実(大阪大学)
- 環境リスク論の疫学的観点(仮). 柴田義貞(長崎大学)
- 看護研究における統計的諸問題(仮). 大野ゆう子(大阪大学)
- 生存時間研究におけるアンサンブル学習法の開発. 下川敏雄(山梨大学)
- ランダム係数モデルに基づく時変型回帰モデルの推測とその応用. 三角俊裕・伊藤雅憲(アステラス製薬株)
- 臨床評価過程の歴史に学ぶ. 後藤昌司(特定非営利活動法人 医学統計研究会)
- 共変量を伴う ROC 曲線の推測(仮). 大江基貴(株大塚製薬工場)
- 潜在基礎分布の非対称性が対応のあるデータの検定法に及ぼす影響(仮). 五十川直樹(ファイザー株)
- Lasso 調整型確率化平衡樹木による回帰解析. 中村将俊(大日本住友製薬株)
- 経時対応データの解析における相対効果の信頼区間(仮). 永久保太士(アスピオファーマ株)

(4) サマー・フォーラム 2010 が以下の次第で開催されます。なお、詳細なプログラムは次号でお知らせいたします。

日時：2010年7月24日(土) 9時15分～14時30分。

なお15時から「ボウリング大会」が予定されています。

会場：茨木市市民総合センター(クリエイトセンター)。

(5) 平成22年度第2回理事会が上記のサマー・フォーラム2010の折に開催されます。理事の方々にはご参集をお願いいたします。議題などは、次号にてお知らせいたします。

---

Newsletter 編集：

後藤昌司・栗林和彦・坂本 亘・富金原 悟・河合統介・藤澤正樹・杉本知之・大門貴志・伊藤雅憲

連絡先：

医学統計研究会 事務局 [絹田由里子・後藤 孚・山口祐介・大山秀輔・横山隼人・吉川隆範]

〒560-0085 豊中市上新田2丁目22-10-A411号

Tel & Fax : 06-6835-8790 / e-mail : bra\_goto@ybb.ne.jp / URL: <http://www.bra.or.jp>

本ニュースレターの転載は全文・部分を問わず禁止させていただきます。